

「みやぎの農商工連携推進宣言」について

「みやぎの農商工連携推進宣言」

～創意工夫による新たな産品・サービスの創出～

多彩で豊かな地域資源に恵まれた宮城県においては、地域を支える農林漁業者，商工業者が，お互いの強みを活かして有機的に連携し，付加価値の高い産品の創出や新たな販路の開拓などを行う農商工連携のさらなる取組が期待されています。

この農商工連携の取組は，地域の産品やサービス等を活用し，地産地消による内需拡大に加えて国内外への提供も図ることで，地域の農林水産業，商工業，観光等の振興とともに，新たな雇用の場の創出や人材育成にもつながり，地域経済の活性化に大いに寄与するものであります。

こうしたことから，富県宮城推進会議では，「みやぎの農商工連携を推進しよう！」を合言葉に，宮城県の豊かな海・山・大地が育む農林水産物を活かし，産業分野一体で創意工夫を凝らしながら，新たな産品・サービスを創出する農商工連携を推進していくことを宣言いたします。

平成 22 年 6 月 11 日

富県宮城推進会議会長 丸 森 仲 吾

「みやぎの農商工連携推進宣言」の趣旨に沿った取組事例

○団体・企業の取組

※区分ごとに取組が進んでいる順で掲載しています。

区分	No.	項目	内容(予定を含む。)
農業	1	県産食材を使った新商品の開発・販売	<p>・パンや洋菓子を製造・販売する白石食品工業が、仙台工場で新商品(小粒な伊達っこペーカリー)を開発し販売。JAみやぎ亙理の「とちおとめ」、JAみやぎ登米の「ミヤギシロメ」、仙台味噌醤油の「仙台味噌」等の県産食材を活用。</p> <p>【実施主体】JAみやぎ亙理(亙理町)、JAみやぎ登米(登米市)、白石食品工業(大和町)、仙台味噌醤油(仙台市)、丸紅畜産宮城事業所(石巻市)、山田乳業(白石市)</p>
	2	環境保全米などを原料とした酒・みそづくり	<p>・仙台の水と環境保全米を使った「純米吟醸酒・仙臺驛(せんだいえき)政宗」をJAやJR東日本などでつくる協議会で「新青森」新幹線開通に合わせて発売。</p> <p>・秋保温泉旅館組合では、女将(おかみ)自らが秋保産の大豆ミヤギシロメや環境保全米でみそを仕込み、各旅館で提供。</p> <p>【実施主体】酒:JA仙台(仙台市)・東北総合サービス(仙台市)・勝山酒造(仙台市)など みそ:JA仙台(仙台市)・秋保温泉旅館組合(仙台市)</p>
	3	食材生産者と食品製造者のマッチング支援(米粉)	<p>・製麺会社のアオキ(仙台市)で製造した、亙理町産米を使用した米めんとう、仙台味噌・醤油の醸造会社山田屋(亙理町)の県内産大豆を使った味噌や、亙理町産品(「アセロラで酢」)などを同梱したギフト商品「伊達一門」を、JAみやぎ亙理、亙理町とともに検討を重ね開発し、11月中旬に発売を開始。</p> <p>※自給力向上戦略的作物等緊急需要拡大事業採択</p> <p>【実施主体】アオキ(仙台市)、山田屋(亙理町)、JAみやぎ亙理(亙理町)</p>
	4	食材生産者と食品製造者のマッチング支援(ブルーベリー、きのこ)	<p>・地元産食材のブルーベリーやキノコを活用したフランスパンの商品開発。</p> <p>・ブルーベリー生産者とともに開発した4種の商品を、1か月間(7月15日～8月15日)にわたり泉パークタウンタビオ店と三越仙台店で発売。</p> <p>※富谷町のブルーベリーの認知度も向上。</p> <p>・地域食材を活用した商品開発の第2弾として、きのこ生産者とともに開発した計7種の商品を、10月1日から11月上旬まで発売。</p> <p>【実施主体】メゾンカイザー仙台(仙台市)、富谷町ブルーベリー生産組合(富谷町)、熊谷しいたけ園(仙台市)、渡辺しいたけ直売所(大郷町)、麓上(ふもとかみ)舞茸生産組合(大和町)</p>
	5	食材生産者と食品製造者のマッチング支援(きのこ)	<p>・地元産キノコを活用した「秋の吹き寄せ弁当」(850円)と「栗めし」(750円)の2種の新作駅弁が開発され、10月1日から11月下旬までJR仙台駅構内にて発売。</p> <p>【実施主体】日本レストランエンタープライズ(仙台市)、熊谷しいたけ園(仙台市)、渡辺しいたけ直売所(大郷町)、麓上(ふもとかみ)舞茸生産組合(大和町)</p>
	6	地域食材のコラボレーションによる新商品の開発・販売	<p>・宮城県への支援(地域産業振興事業)をきっかけに、大崎地域の西の資源(ゆきむすび)と東の資源(ジャージー牛)が結び付いて、「ゆきむすびアイスクリーム」を開発。地元の旅館等を中心に販売されている、湯・農商工連携の取組。</p> <p>【実施主体】中山平温泉観光協会(大崎市)、中山平温泉旅館組合(大崎市)、鳴子の米プロジェクト(大崎市)、ジャージー牧場(大崎市)、北部地方振興事務所(大崎市)</p>
	7	ヤーコン焼酎の開発	<p>・丸森町で観光を手がける阿武隈ライン保勝会がヤーコン焼酎「もりもり」を発売。丸森町内の栽培農家が普及を目的に設立したヤーコンプロジェクトから約400kgのヤーコンを仕入れ、1,000本の焼酎を製造し、保勝会が運営する各観光施設で販売。</p> <p>【実施主体】阿武隈ライン保勝会(丸森町)、ヤーコンプロジェクト(丸森町)</p>
	8	「いのしし館」オープンと加工品の開発	<p>・「いのしし館」は、農作物鳥獣被害対策に取り組む稲作農家らが作る「丸森自然猪利用組合」が設立。精肉の販売以外にも、みやぎ仙南農協の子会社の加工連(角田市)に製造を委託し、ソーセージやベーコンなどを開発・販売。</p> <p>【実施主体】丸森自然猪利用組合(丸森町)、加工連(角田市)</p>
	9	ポテトチップス原料の契約栽培	<p>・カルビーとポテトチップス製造の原料とする加工用ジャガイモを契約栽培し、「カルビー独自の品質管理マニュアル」に沿って生産・提供(平成22年産実績:275トン、水田11ha)。</p> <p>【実施主体】JAみどりの南郷ぼてと部会(美里町)</p>
	10	よみがえる伊達文化!! 政宗ブランド構築プロジェクト	<p>・中小企業庁の「地域資源∞全国展開支援事業」の採択を受け、地域資源を活用し、全国展開(販売)できる玉造の特産品開発に取り組んでいる。その中で、大崎市の大豆を使用した郷土食である「凍みつばなし」で健康を意識した食の開発を行い、数種類の新商品を開発。今後、東京での商談や地元での提供も行われる予定。</p> <p>【実施主体】玉造商工会(大崎市)</p>

農業	11	地元産ブルーベリーを使った新商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥させた富谷町産ブルーベリー、ホタテ貝柱、マイタケなどを炒めて具にした「食べるラー油」を開発。 ・2月に東京ビッグサイトで開催される食品見本市に出展し、販路の開拓を目指している。 <p>【実施主体】くろかわ商工会富谷事務所(富谷町), 麺友(富谷町)</p>
	12	地元産白菜を使った新商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・富谷町内産の白菜、そして塩だけを使った無添加の「白菜漬け」を開発。 ・2月に東京ビッグサイトで開催される食品見本市に出展し、販路の開拓を目指している。 <p>【実施主体】くろかわ商工会富谷事務所(富谷町), 北海食品工業有限会社(富谷町)</p>
	13	食材生産者と食品製造者のマッチング支援(大豆)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産大豆を活用した消費者ニーズの高い納豆製品の開発。 ・消費者ニーズの高い地元産極小粒大豆による納豆開発について、JA仙台、JAあさひなにおいて極小粒大豆の作付けを誘導し、6haで極小粒大豆(すずほのか)を栽培。 ・販売に向けて試作が行われており、商品の完成はH23年4月頃の予定。 ・自給力向上戦略的作物等緊急需要拡大事業採択 <p>【実施主体】萬歳食品工業(仙台市), JA仙台(仙台市), JAあさひな(大和町)</p>
	14	たまねぎ加工の商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・たまねぎを使った加工品として、「Bach Onion(バツハオニオン)」のブランド名でジャム・ドレッシング・スープなどを直売所やインショップで販売する。 ・JAが農林水産省の地域ブランド化支援事業を利用し、仙台市のレストラン「LA・PAIX(ラ・ペ)」の監修で、加美町の食品会社「やくらいフーズ」が試作品作りなどを行った。 <p>【実施主体】JA加美よつば玉葱(たまねぎ)部会(加美町)</p>
	15	仙台小ねぎ需要拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・涌谷町特産物の「仙台小ねぎ」を活用した「小ねぎそば」の開発。生産者らの意見を聞いて改良し、ご当地料理として、メニューに加えてもらえるよう町内の飲食店に働きかける予定。 <p>【実施主体】生産者, 宮城県美里農業改良普及センター(美里町), 涌谷町商工会(涌谷町), 地元飲食店</p>
	16	鳴子温泉地区の夏秋イチゴの栽培と新商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県の農商工連携推進プロジェクトをきっかけに、鳴子温泉地区での夏から秋にかけて収穫できるイチゴの試験栽培を行うとともに、イチゴを活用した新商品開発に取り組んでいる。 <p>【実施主体】生産者, 菓子業者, 旅館業者</p>
	17	「幻の米・愛国」の栽培復活と日本酒の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛国」は「ひとめぼれ」「ササニシキ」「コシヒカリ」等の原種の水稲で、丸森町舘矢間地区から全国に広まった。「愛国」は現在、酒米として舘矢間地区で栽培されており、阿武隈ライン保勝会が「愛国」を使った日本酒の製造に取り組んでいる。 <p>【実施主体】阿武隈ライン保勝会(丸森町), 愛国顕彰事業実行委員会(丸森町)</p>
林業	1	松島産竹材による新商品の開発・販売	<ul style="list-style-type: none"> ・林業・商工・観光を結び付けた商品開発の1つとして、松島特産のモウソウチクを使用し、「手作りのマイ竹箸」を地元工芸社が発案・製作。原材料のモウソウチクの伐採・加工を森林組合が前端的に協力。森林所有者は材料提供者となり三者協力の下、開発・販売。現在、年間2万膳を越す生産量にまで成長。 ・松島の観光資源を生かしたお土産用の竹細工商品の生産・販売の拠点作りを地域連携を通して実現して行く予定。 <p>【実施主体】宮城中央森林組合(仙台市), 松島工芸(松島町), 森林所有者</p>
	2	「伊達な木遣い商品」開発プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業庁の「地域資源∞(無限大)全国展開プロジェクト」の一環として、地場産の間伐材や端材を使った木工品の開発に取り組み、1年後の製品化を目指している。 <p>【実施主体】仙台商工会議所(仙台市), 宮城中央森林組合(仙台市)</p>
	3	松島産タケノコを生かした新食品の開発・販売	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の繁殖が、日本三景松島の景観の悪化や森林機能の低下を招く等の影響を与えている。 ・この問題をタケノコの食に注目し、メンマ・タケノコキムチ・タケノコ松前漬け等の食品開発と販売を実現することで、森林所有者等との新たな協力関係を結び、ホテル・旅館・食品販売店等の観光・商工団体と連携した地域活性化と林業所得の向上、並びに森林整備を目指し取り組んでいる。 <p>【実施主体】宮城中央森林組合(仙台市), 仁川食品(松島町), 森林所有者</p>
水産業	1	石巻湾産カキの無添加味噌和え「牡蠣味噌」の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・石巻湾産のカキを活用し、仙台味噌醤油醸造元である高砂長寿味噌の赤味噌と混ぜ合わせ、水産加工の末永水産が「牡蠣味噌」を開発・販売。 <p>【実施主体】末永水産(石巻市), 高砂長寿味噌(石巻市)</p>

水産業	2	「石巻コロッケ」の開発	<p>・仙台市と石巻市の食品会社2社が石巻特産のカキを活用したコロッケを開発し、「石巻コロッケ」として飲食店等に卸しを開始。仙台市や石巻市の飲食店、精肉店等で販売。</p> <p>【実施主体】金久商店(仙台市), 三養水産(石巻市), 仙台市や石巻市の飲食店 等</p>
	3	地元産海苔を使った新商品開発	<p>・皇室にも献上された東松島市産の高級海苔を粉末にして練り込んだ「のりうどん」を開発。</p> <p>・東松島市内14店舗で提供されている。</p> <p>【実施主体】東松島市商工会(東松島市), 東松島市内の飲食店</p>
	4	地元産水産物などを活用した新商品の開発・販売	<p>・伊達なこだわり米塩酒を使用した、石巻港水揚げの小魚入り笹かまぼこを開発し販売。</p> <p>(宮城県産の米粉, 万石浦の伊達の旨塩, 石巻の地酒, 石巻港水揚げノドグロを使用)</p> <p>・海のスイーツお魚プリンを開発し販売。</p> <p>【実施主体】山徳平塚水産(石巻市)</p>
	5	三陸産ほやを使った洋酒に合うつまみ	<p>・三陸産のほやを使って洋酒に合うつまみを開発する。</p> <p>・今後は、ハーブの活用も検討している。</p> <p>【実施主体】あなたの街の三河やさん(仙台市), Y.M.O(仙台市), 三陸オーシャン(仙台市)</p>
	6	ホヤ入りマドレーヌの開発	<p>・日本一の生産量を誇る石巻市のホヤを活用した名物売り出すため、石巻製菓パン同業組合がホヤの乾燥粉末入りマドレーヌの開発に取り組んでいる。名称やパッケージ等を具体化し、1月以降、組合員の店舗等で販売予定。</p> <p>【実施主体】石巻製菓パン同業組合(石巻市)</p>
	その他	1	全国キャラバン！食の発掘商談会 in 仙台
2		農商工連携マッチングフェアin仙台の開催	<p>1 成功事例の紹介 農商工連携の進め方と成功事例等について、本県認定第1号を支援した中小企業診断士及び認定を受けた事業者よりそれぞれ発表。</p> <p>2 ビジネスマッチング 農林漁業者12(団体), 商工業者17(商11, 工6), その他3 ①農林漁業者のPR ②テーブルマッチング(4テーブル) ③個別マッチング 第1回目 7組, 第2回目 5組 ※ マッチング(テーブル, 個別共)には全て専門家を配置(同席)。</p> <p>【実施主体】主催:全国商工会連合会(東京都), 共催:宮城県, 仙台市, 中小企業基盤整備機構東北支部(仙台市), JA全農みやぎ(仙台市), 宮城県漁業協同組合(石巻市), 宮城県商工会連合会(仙台市)</p>
3		多賀城・七ヶ浜産「季節の食材一押しフェア」	<p>・多賀城・七ヶ浜地域で生産されている食材を活用した料理・菓子等を地域飲食店・菓子店等で、一斉に提供するフェアを展開することにより、更なる地域飲食店等の魅力向上と地場の食材の活用促進を図り、個店経営の活性化と地場産業の振興に資することを目的として開催した。</p> <p>【実施主体】多賀城・七ヶ浜地産地消研究会(多賀城市)</p>
4		農商工連携プロデューサー育成塾 第2期	<p>・農商工連携プロデューサーの育成に向け、連携手法やビジネスプラン立案に関する「講義・ワークショップ」と先進事例現場で学ぶ「実習」を実施。</p> <p>【受講期間】8月から1月までの隔週土日 計100時間 【講師】東北大学, 宮城大学の教員及び民間企業経営者, 現場リーダー等 【受講生】企業経営者・新規事業責任者, 起業家, JA関係者, 農業者, 金融機関等</p> <p>【実施主体】東北農商工連携プロデューサー育成コンソーシアム(仙台市) 代表 東北大学経済学研究科地域イノベーションセンター長 大滝精一教授, 構成団体:東北大学(仙台市), 宮城大学(仙台市), 東北経済連合会(仙台市), 一ノ蔵(大崎市), 伊豆沼農産(登米市), プロジェクト地域活性(仙台市)</p>

その他	5	農商工連携等人材育成講座	<p>・農商工連携に積極的に取り組もうとする人材を発掘し、農林漁業・商工業の両方の経営実務に必要な知識を習得するための座学(ロールプレイング研修含む)・実地研修等を実施。 平成22年度は、24名が参加、18名が修了</p> <p>【実施主体】宮城県中小企業団体中央会(仙台市) ※平成21年度に引き続き22年度も実施</p>
	6	みちのく6次産業プラットフォームの設立	<p>・新事業創出のためのネットワークとして、農商工連携プロデューサーの育成塾の第1期・第2期の修了生を中心に、農商工連携に関する情報の受発信、連携プロジェクトの支援等に取り組んでいる。</p> <p>【実施主体】みちのく6次産業プラットフォーム(仙台市)</p>
	7	「ナチュラルイノベーションの創出に向けて」調査の実施	<p>・東北経済連合会では「新成長戦略」において重点とされた「ライフイノベーション」「グリーンイノベーション」に「食」や「農(第1次産業)」を加えた「ナチュラルイノベーション」を東北の戦略的な取組分野として位置づけている。</p> <p>・平成23年度において、「ナチュラルイノベーション」推進に向けた、「食」や「農(第1次産業)」関連分野について、東北の産業の実績と課題を踏まえて戦略重点分野の絞り込みを行い、中長期視点からのイノベーション戦略を検討するとともに、個別の具体的推進策を検討し、東北一体での重点的な取組を提案する。</p> <p>【実施主体】東北経済連合会(仙台市)</p>
	8	NPO法人を設立	<p>・宮城県中小企業団体中央会の、平成21年度「農商工連携等人材育成講座」受講生が里山保全を目指しNPO法人を設立。</p> <p>・伐採された竹を農業資材へ転用、販売し、それによる収益を更なる里山保全活動へ活用していく。</p> <p>※宮城県中小企業団体中央会がNPO法人設立まで支援、現在は、丸森町商工会経由で応援センター事業を活用し事業計画をブラッシュアップ中。</p>

○県の取組

区分	項目	内容(予定を含む。)
講演	農商工連携に関する講演会	<p>・第2回富県宮城推進会議幹事会(H22.9月)で農商工連携に関する講演を実施 演題:「農商工連携の現状と課題」について 講師:東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター長 大滝 精一 様</p> <p>※県内の取組事例として、「かほく・上品の郷(道の駅)」(石巻市)が紹介された。</p> <p>・石巻市の農林水産業者・加工業者と連携し、様々な特産品の開発・販売とブランド化を推進(例:セリ・ベッコウじみを使用した加工品、麦・大豆等の加工品(そば・豆腐・油麩等)、生産者に対する栽培講習会の実施等)。</p>
水産業	石巻産「かき」スキルアップ事業(富県創出モデル事業)	<p>・サイズや生産時期の関係で生食流通に乗らない規格外等の石巻産「かき」を原料とし、生産者と地元水産加工業者の連携により「かきソース」を開発する。</p> <p>・石巻商工会議所や石巻観光協会等と連携し、地域内外で開催されるイベント等での活用により「かきソース」の普及を図る。</p> <p>【実施主体】宮城県漁業協同組合(石巻市)、石巻市水産加工業協同組合(石巻市)、石巻商工会議所(石巻市)、石巻観光協会(石巻市)等</p>
	気仙沼発「リアスの恵み」活用農商工連携高付加価値化推進事業(富県創出モデル事業)	<p>・生産者と商工業者及び技術研究機関の連携により、「メカジキ」「地元野菜」を素材とした「メカカレー」等のレトルトパック(3種類)を開発する。</p> <p>・新商品の販路開拓等のため、商工会議所等と連携し、市内外で開催されるイベントや物産展等で試食提供・販売を行う。</p> <p>【実施主体】気仙沼漁業協同組合(気仙沼市)、南三陸農業協同組合(南三陸町)、気仙沼市水産加工業振興協議会(気仙沼市)、気仙沼商工会議所(気仙沼市) 気仙沼市等</p>

参考:これまでの「宣言文」

- ・平成23年6月11日
「みやぎの農商工連携推進宣言」～創意工夫による新たな産品・サービスの創出～
- ・平成21年3月25日
「地産地消に取り組む県民運動」に関する宣言～県産品等やサービス等の内需拡大に向けて～